

令和 年度 太枠で囲まれた各項目①～⑭について記入してください
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

① 令和 年 月 日 殿

② 〒039-2800 青森県上北郡七戸町字七戸1-1 (電話 0176-62-1111)

③ 七戸（株） 代表取締役 七戸太郎 (印)

3 個人番号又は法人番号
4 事業種目 (資本金等の額) 印刷業 (20 百万円)
5 事業開始年月 S63年 12月
6 この申告に回答する者の届及び氏名 経理部 天間 (電話 0176-68-1111)
7 税理士等の氏名 税理士 林 (電話 0176-60-1111)

⑤ 8 短縮耐用年数の承認 有・無
9 増加償却の届出 有・無
10 非課税該当資産 有・無
11 課税標準の特例 有・無
12 特別償却又は圧縮記帳 有・無
13 税務会計上の償却方法 定率法 定額法
14 青色申告 有・無

法人の場合は、本店の所在地をご記入ください。

該当する方を○で囲んでください。

⑩

資産の種類	取得価額				償却額				計(イ)-(ロ)+(ハ)(ニ)				
	前年取得したもの(イ)		前年中に減少したもの(ロ)		前年中に取得したもの(ハ)								
	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	
1 構築物		150	0000							1234	500		
2 機械及び装置		200	0000		100	0000				678	900		
3 船舶													
4 航空機													
5 車両及び運搬具		100	0000										100
6 工具、器具及び備品		50	0000		47	0000		40	0000				57
7 合計		500	0000		147	0000		231	3400				598

5 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
① 七戸町字七戸1-1-1
②
③

⑪

16 借用資産 (有) 無
17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 借家

⑫

該当する方を○で囲んでください。「有」の場合は、貸主(リース会社等)の名称等を記入してください。

資産の種類	評価額(ホ)				決定価格(ヘ)				課税標準額(ト)				
	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	
1 構築物													
2 機械及び装置													
3 船舶													
4 航空機													
5 車両及び運搬具													
6 工具、器具及び備品													
7 合計													

18 備考(添付書類等)

⑭

該当資産なし、増減なし、移転等により資産がなくなった等資産の増減について必要な事項がありましたらご記入ください。また、修正申告の際はここに修正申告と記入してください。

令和 年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

第二十六号様式別表(提出用)

所有者コード		所有者名		枚のうち					
		七戸(株) 代表取締役 七戸太郎		枚目					
行番号	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	増加事由	課税標準額	摘要
01	1	事務所内装工事	1	4 29 3	1234500	10			
02	2	断裁機	1	4 29 10	678900	10			
03	6	パソコン	1	4 29 7	200000	4			
04	6	エアコン		4 28 12	200000	6			
05	①								
06									
16									
17									
18									
19									
20									
小計					2313400				

※記入不要

「資産」の種類
以下の数字で記入してください。
1=構築物(建物設備含む)
2=機械及び装置
3=船舶
4=航空機
5=車両及び運搬具
6=工具、器具及び部品

「取得年月日」
3=昭和
4=平成
5=令和
(例)
令和1年9月の場合は「5 1 9」となります

「取得価格」
・事業用償却資産を取得するために、その取得時において通常支出すべき金額をいいます。すなわち当該償却資産の引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料関税、据付費等、資産をその用途に供するために直接要した費用の額を含めた合計額を記入してください。
・いわゆる圧縮記帳を行っている場合はそれら圧縮額を取得価格に含めてください。
・改良費の支出があった場合には、本体と別にし、ひとつの資産として記入してください。(耐用年数は本体と同じ)
・税込経理方式の場合は消費税を含めた額が取得価格となります。

「耐用年数」
法人税及び所得税における法定耐用年数を記入

※書いても書かなくてもどちらでも大丈夫です。計算方法は申告の手引きに記載しております。

「増加事由」
該当する増加事由の番号を○で囲んでください。
1=新品取得
2=中古品取得
3=移動による受入
4=その他
3の場合、摘要欄に移動前の所在場所を記入してください。
4の場合、摘要欄に理由を記入してください。

「摘要」
課税標準の特例が適用される資産・短縮耐用年数を適用している資産・増加償却を行っている資産についてその旨表示してください。
資産の価格の決定について必要な事項がある場合や、資産が増加した事由について特記すべき事項がある場合は、その旨表示してください。
申告漏れについては過年度分の修正申告とみなし、更正を行います。

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

